



清流

発行：白石市教育委員会生涯学習課（22-1343）

【ボランティア】
できるひとが
できるときに
できることを

白川小学校「ぶち豆づくり」12月9日（火）実施 「豆腐づくり」12月16日（火）実施

白川小学校3・4年生が、12月9日に「ぶち豆づくり」、12月16日に「豆腐づくり」に挑戦しました。

ぶち豆とは、主に日本海側などの豪雪地帯で、伝統的に作られている大豆保存食で、大豆を水につけてもどしたものを、石臼などの平らな石の上に乗せて木槌で潰し乾燥させたもので、山形県や、福島県、福井県、富山県、新潟県、などの家庭料理で用いられるそうです。通常丸大豆は24時間浸漬後、1時間以上煮る必要がありますが、ぶち豆は15分程度で食べられる状態になるそうです。白川小では、公民館や民生児童委員の方々に教えてもらいながら、大豆を少しずつハンマーでたたいてつぶし、慎重に皮を取り除いて、ぶち豆を作りました。

また、豆腐づくりでは、6人の白川ボランティア友の会の方々に支援をいただきました。ミキサーでつぶした大豆を、おからと豆乳に分け、にがりを入れて木枠に流して固めると豆腐が出来上がります。子どもたちはボランティアさんから教えてもらいながら、楽しく、真剣に豆腐づくりに取り組みました。



白石一小 放課後子ども教室「わくわく広場」



放課後子ども教室は、放課後や休日等に小学校の余裕教室や公的な施設等を活用し、様々な体験活動や交流活動等を地域住民の協力を得て行うことで、地域社会の中で心豊かで健やかな子どもたちを育てることや、学校・地域・児童クラブが連携し子どもたちの安心安全な居場所作りを目標にした活動です。

白石一小では年間20回の活動が予定されています。絵本の読み聞かせや、草木染、折り紙、新聞紙やチラシを使った遊びなど、毎回楽しい活動が用意されていて、子どもたちは毎回とても楽しんで参加しています。これらの活動を通して、自分で考え行動したり、周りのことや人を気遣ったりすることなども大切にして活動しています。

放課後子ども教室は、白石二小や越河小でも行っており、各学校の様子に応じた楽しい活動を工夫しています。